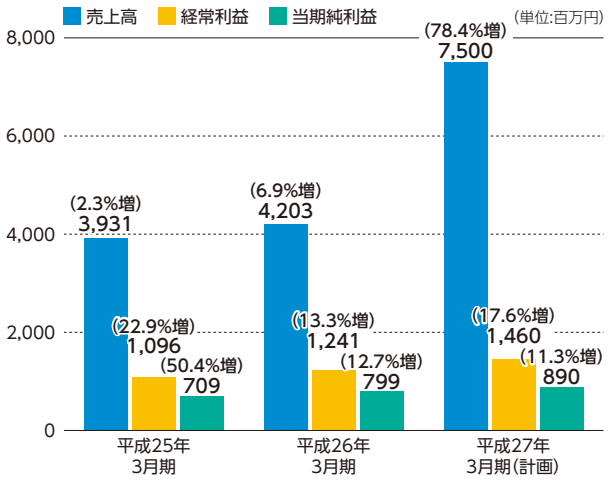
業績ハイライト



(　)内の%表示は、対前期増加率

• 売上高、経常利益、当期純利益ともに、上場来最高業績に。

期末配当および次期増配のお知らせ

平成26年3月期の期末配当は、1株当たり30円を予定しています。これにより年間配当は中間配当30円と合わせて、1株当たり60円となります。

また、平成27年3月期の中間配当金、期末配当金につきましては、それぞれ35円とし、年間配当70円へ増配を実施する予定です。

株主優待制度導入のお知らせ

当社は、ビーコンITをグループに加え、新たな成長に向けてスタートしました。株主の皆さまへ、これまでのご支援に感謝するとともに、今後より多くの方に当社株式を保有していただき、当社グループへの理解を深めていただくため、株主優待制度を導入します。

平成27年3月31日現在の株主さまを対象に実施する予定です。

保有株式数	優待商品
100株以上500株未満	JCBギフトカード2,000円分
500株以上	JCBギフトカード4,000円分

IRニュース

第32期定時株主総会、株主懇談会のご案内

当社、第32期定時株主総会を下記の通り開催します。

総会へご参加いただいた株主さまへのお土産として、今年は三陸鉄道カレーセットをご用意しています。

三鉄カレーセット
本商品の購入は、三陸鉄道と地元企業の支援につながります。

また、株主総会終了後には、株主懇談会も開催します。当社では、1人でも多くの方々に当社をご理解いただくため、株主懇談会へ株主さまのお連れさま(1名)をご招待する取り組みを行っています。

ご多用とは存じますが、ご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

- **日時　平成26年6月18日(水)午前10時から**
- **会場　大手町サンケイプラザ　4Fホール**
  (昨年と会場が異なりますので、ご注意ください)

株主総会議案の説明動画のご案内

当社はこのたび、株主さま向けに、株主総会へ付議する議案のポイントをご説明するための動画を当社ホームページへ掲載いたします。

平成26年6月2日(予定)より、当社ホームページの「IR情報」に特設サイトを設けますので、是非ご覧いただき、議決権行使にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

BSP　IR情報　検索

IRカレンダー

8月7日(木):平成27年3月期第1四半期決算発表

会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号	株式会社ビーエスピー
設立	昭和57年5月
上場	東京証券取引所 JASDAQ市場(証券コード:3800)
資本金	13億3,000万円
従業員数	415名(連結)
所在地	〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟
ホームページ	http://www.bsp.jp/
お問い合わせ	広報IR室　TEL:03-5463-6384

平成26年3月期 決算レポート

平成25年4月1日～平成26年3月31日

BSP

株式会社 ビーエスピー
証券コード：3800

■ 株主の皆さまへ
上場来最高売上、経常利益達成
■ 「BSPグループ・CREDO」制定について
■ 業績ハイライト
■ IRニュース
•期末配当および次期増配
•株主優待制度導入
•定時株主総会、株主懇談会のご案内

しなやかでまっすぐな企業を目指します
株式会社ビーエスピー

株主の皆さまへ

代表取締役
社長執行役員
竹藤 浩樹

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、先般、5月8日に平成26年3月期決算を発表いたしましたので、概要をご報告申し上げます。

決算の概要
上場来最高の売上高と経常利益を達成

当期の成果といたしましては、ITシステム投資の回復基調が続くなか、お客様のシステム更新、ITサービス部門変革のための提案、災害対策を目的としたバックアップ構築案件の提案等への積極的な取り組みが受注へ結びつきました。

さらに、お客様のIT部門の業務価値創出コンセプトである「運用レス2.0」をベースとした提案を、コンサルティングや下期より立ち上げたITシステムの運用代行サービスである「運用BPOサービス」事業の提案に活かしたことも受注活動に奏功いたしました。

この結果、当期の業績は、売上高42億3百万円（前期比6.9%増）、営業利益11億81百万円（同10.0%増）、経常利益12億41百万円（同13.3%増）、当期純利益7億99百万円（同12.7%増）、1株当たり当期純利益204円76銭（前期は181円22銭）となり、上場来最高の売上高、経常利益、当期純利益を達成しました。

また、当第4四半期には、ITの急速な技術進歩および競争環境への適応と、当社グループの事業構造の改革を目的に、これまで持分法適用関連会社であった株式会社ビーコン インフォメーション テクノロジー（以下、ビーコンIT）を連結子会社といたしました。

これにより、変化するユーザ企業とその戦略的組織に対して有効な提案ができる企業グループへの再生（Re Born）を図ってまいります。

事業別の取り組みと業績の状況

【プロダクト事業】

当期のプロダクト事業の売上は、15億24百万円（前期比13.3%増）、営業損失は4億43百万円（前期は5億2百万円の損失）となりました。

プロダクト事業全体の売上では、既存および新規のお客様から大型案件を受注したことや、ITサービスマネジメント分野の受注好調を受け、製品売上および技術支援サービス売上、保守サービス売上ともに前期比で増加しました。

【メインフレーム事業】

当期のメインフレーム事業の売上は、23億59百万円（前期比2.1%減）、営業利益は16億97百万円（同1.9%減）となりました。

金融業界や生損保業界における災害対策強化に向けた取り組みの動きのなか、システム統合や増強のニーズが高まることを見据え、同業界への提案活動を行いました。

製品売上および技術支援サービス売上は、お客様のシステム更改時期に合わせた営業活動や計画的な契約締結活動に取り組んだこと、災害対策によるバックアップ構築案件が増加したことにより、既存のお客様からの受注が増加しました。

【ソリューション事業】

当期のソリューション事業の売上は、1億88百万円（前期比7.4%増）、営業利益は16百万円（同205.4%増）となりました。

当期においては、下期から当社グループの事業コンセプト「運用レス2.0」を核とし、当社グループのソリューションを組み合わせた提案活動に取り組んだ結果、コンセプトに共感していただいたお客様からのシステム運用基盤構築案件の受注につながりました。

【運用BPO事業】

当期の運用BPO事業の売上は、1億31百万円、営業損失は38百万円となりました。

本事業においては、当社のベテラン技術者が持つスキルやノウハウを活かし、お客様との間でシステム運用に関わる課題の共有化に取り組みました。これにより、お客様の課題解決に資する効果的な提案を行うことができ、システム移行案件やサービスデスク構築案件を受注するなど、本事業は予定通りの立ち上がりとなりました。

「BSPグループ・CREDO」制定について

当社は、平成26年1月、株式会社ビーコンITをグループ化しました。これに伴い、BSPグループの役職員ひとり一人の発想と行動の基準となり、進むべき方向を示す羅針盤として、以下の「BSPグループ・CREDO（クレド）」を制定しました。

Mission

しなやかなITでお客様のビジネスとワークスタイルの変革を応援します

Empower Your Business & Change Your Work style

行動指針

1.【ユニーク】
私たちは、ITの先導役として、ユニークな発想で、これまでにない製品やサービスを提供します。

2.【誠実】
私たちは、企業として永続するために、全てのステークホルダーに対して、誠実であり続けます。

3.【利他】
私たちは、お客様の利益に資する『利他』の精神で行動します。

4.【変化、挑戦】
私たちは、変化へ俊敏に対応し、未知の事に挑戦し続けます。同時に、失敗からも学ぶ逞しい精神を大切にします。

5.【結束】
私たちは、無難な判断を排し、納得するまで議論を尽くします。そして、目標達成に向かって心をひとつにし、結果を出します。

6.【グローバル】
私たちは、世界中の国や地域の文化、慣習を尊重し、ともに働き、ともに学び、地域の発展に貢献します。

7.【凛】
私たちは、企業人として法令と社会ルールを遵守し、凛としてしなやかに行動します。

BSPグループ・CREDO